

令和5年度 月潟地区コミュニティ懇談会

◆開催日時：令和5年8月19日（土） 15:00～17:10

◆開催会場：月潟地区公民館 2F 大会議室



〈質疑概要〉

月潟農村環境改善センターの備品整備について

発言： 今年の月潟まつりでの角兵衛獅子の舞を農村環境改善センターで折りたたみ椅子を並べて行う予定だったが、椅子を結束しないと駄目だということで消防署から許可されなかった。

許可されるような安定感のある椅子を整備してほしい。

回答： まずは消防署に確認させていただきます。

宅地や農地の放置された雑草や雑木の管理について

発言： 高齢者世帯の庭が藪になっているから何とかしてほしいと相談がある。

当該世帯にお願いしても、高齢で労力がないことや年金暮らしなどの話をされるとそれ以上のことは言えなくなり、自治会で草を刈ったことがあった。

こういう場合、自治会でどう対応すればよいのか教えてほしい。

回答： 所有者に適切な管理責任がありますので、市としては所有者に適正な管理をするよう助言・指導を行っています。

令和5年の民法改正により、隣地から伸びてきた枝などの処理を所有者が対応してくれない場合、代わりに処理をして掛かった経費を相手に請求できるようになりましたが、処理した後の費用負担をどうするかなどの問題も出てきます。

具体的に困っている状況がある場合、まずは区民生活課にご相談いただきたいと思います。

交通インフラと人口減少の歯止めについて

発言： 全国的なドライバー不足の問題もあり、新潟交通の減便と運賃の値上げがあった。

ある程度新潟交通に委ねることは必要だと思うが、人口減少により今後成り立たなくなると思うので、区バスや住民バスを拡充することを検討できないものか。

回答： 新潟交通の減便により、白根中心部から新津に行く土曜日のバスがなくなってしまいました。

運転士不足が影響しているなかで、今すぐ区バスの路線を拡充することは難しい状況だと感じています。

発言： 公共施設の再編により、廃止した施設を利用したパークアンドライドを検討してはどうか。

回答： 過去南区においても国道8号のスーパーなどを活用したパークアンドライドを実施しましたが、車と路線バスの組み合わせではメリットがなく廃止した経緯があります。

渋滞がなく時間的メリットがある高速バスやJRと組み合わせるのがパークアンドライドだと過去の経緯から感じています。

市街化調整区域における開発行為などについて

発言： 平成23年に全市一つの線引き都市計画区域に見直され、月潟全域は市街化調整区域になったことで、今後一切開発ができないと受け止めている方がいる。

市街化調整区域での開発許可制度や要件緩和措置について教えてほしい。

回答： 都市計画を定め、引き続き開発ができる市街化区域と開発を抑制する市街化調整区域とに線引きし、開発許可制度を運用しています。

市街化調整区域は、地元の方は住宅が建てられますが、集落外の方は建てられないという課題があったことから、既存集落区域を設定して、合併前と同じように集落外の方でも建てられるように緩和する条例を制定しました。

発言： 3000㎡までとか、3000㎡以上の空閑地は手をつけられないことについて教えてほしい。

回答： 既存集落区域では、3000㎡未満であれば住宅や店舗兼用住宅、アパートは建てられることになっていますが、住宅が連坦していない3000㎡以上の空き地や畑は条例の対象外となります。

ただ、条例の対象外であってもインフラの整備がクリアできれば別の手法での開発は可能です。

発言： 平成23年に線引きの説明会があったが、ほとんどの方は理解できずにいたと思う。あれから10年以上経過しているので改めて説明の機会を設けてほしい。

回答： ご希望があれば説明会を開催しますので、建設課にご相談いただきたいと思います。

両郡橋西詰への接続道路の整備について

発言： 合併建設計画で月潟西川線を真っすぐ両郡橋へ向かう道路を出したが、地元の話し合いで既存ルートを使いながら整備することになった。

毎年整備は進んでいるが、両郡橋西詰に接続する部分が未着手なので大きな車両が通れない状況になっている。

地籍が西蒲区だから進まないのかと考えるが、整備の促進と現状を教えてほしい。

回答： 大別當工区については、今年度も整備を進め令和7年度中に完了する予定です。

その後、西詰への接続箇所の六分工区の進め方について、西蒲区と検討していきます。

月潟デイサービスセンターについて

発言： 月潟デイサービスセンターの廃止について、突然6月24日の新潟日報に出た。

8月10日の説明会において、味方と月潟のデイサービスセンターをそれぞれ公募し、味方は社会福祉協議会が引き続き運営するが、月潟はどこからも手があがらなかったとの説明があった。

その際、区としてもうひと努力してほしいとお願いしたが、その後何か進展があったのか教えてほしい。

回答： 味方は継続、月潟は継続しないことについて、社会福祉協議会に伺ってきました。

継続できない理由は、ヘルパー事業やデイサービス事業での人材不足とのことで、月潟を継続できないという選択をせざるを得ないということでした。

今後は、施設を廃止し現在の利用者を新たな施設に移っていただくよう進めていきます。

発言： 区役所の担当者からは、自治会のお願いごとを一所懸命やっていたらいい。これはお互いの信頼があるからなので、今後とも信頼関係のなかで物事を進めてほしい。

回答： 信頼を得られるように取り組んでいきたいと思えます。

アルファ化米について

発言： 自治会の防災研修の際、アルファ化米を調理したいので、区役所に備蓄してあるアルファ化米で消費期限が迫っているものがあれば払い下げしてほしい。

回答： 対象品があれば声掛けさせていただきます。